

(別紙1)

ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種を受ける方へ(必ずお読みください)

## ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種説明書

ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種は、予防接種法に基づかない、保護者の意志に基づいて受ける任意接種です。

保護者の方はこの説明書をよく読み、予防接種による効果や副反応、健康被害救済制度などを十分理解したうえで接種を受けてください。また、予診票を記入する際は、保護者が責任をもって正確に記入してください。

	ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン	小児用肺炎球菌ワクチン
病 気 の 説 明	<p>ヒブや肺炎球菌は、多くの人の鼻やのどの奥にいる身近な菌です。重い病気を起こすことはほとんどありませんが、免疫のない乳幼児の場合、重い感染症(細菌性髄膜炎など)を起こすことがあります。</p> <p>小児細菌性髄膜炎の原因菌は、ヒブが60%、肺炎球菌が30%といわれています。細菌性髄膜炎の初期症状は、発熱や嘔吐、不機嫌、けいれんなどで、風邪などのほかの病気の症状と似ているため、早期の診断が難しい病気です。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日本で年間約600人が細菌性髄膜炎に感染し、約5%が死亡し約25%に難聴・発育障害などの後遺症が残ります。</li><li>・他に肺炎や敗血症、中耳炎、副鼻腔炎、気管支炎などの気道感染症も起こします。</li><li>・生後4か月以降から1歳代までの発症が過半数を占めています。</li><li>・ヒブは、冬に流行するインフルエンザ(流行性感冒)とはまったく別のものです。</li></ul>	<p>ヒブや肺炎球菌は、多くの人の鼻やのどの奥にいる身近な菌です。重い病気を起こすことはほとんどありませんが、免疫のない乳幼児の場合、重い感染症(細菌性髄膜炎など)を起こすことがあります。</p> <p>小児細菌性髄膜炎の原因菌は、ヒブが60%、肺炎球菌が30%といわれています。細菌性髄膜炎の初期症状は、発熱や嘔吐、不機嫌、けいれんなどで、風邪などのほかの病気の症状と似ているため、早期の診断が難しい病気です。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日本で年間200人くらいが細菌性髄膜炎に感染します。</li><li>・細菌性髄膜炎は死亡例と後遺症例(水頭症・難聴・精神発達遅滞など)をあわせると約40%近くに達します。</li><li>・肺炎球菌は他に肺炎、菌血症、中耳炎といった病気の原因となります。</li><li>・肺炎球菌にかかりやすいのは、生後3か月以降から5歳くらいまでです。</li></ul>
ワクチン 種類	不活化ワクチン	不活化ワクチン
ワクチン 有効性	ヒブによる髄膜炎、敗血症、蜂巣炎、関節炎、喉頭蓋炎、肺炎及び骨髄炎などの予防に効果があります。	肺炎球菌による重い感染症(細菌性髄膜炎、菌血症など)を予防する効果があります。
副 反 応	44.2%.....接種部位の発赤 17~18%..はれ・しこり 5%.....疼痛	10~20%...接種部位の発赤・はれ・しこり 15~24%...発熱
	非常にまれですが、海外で次のような副反応が報告されています。 1) ショック、アナフィラキシー様反応(通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応) 2) けいれん(熱性けいれん含む) 3) 血小板減少性紫斑病(ヒブワクチンのみ)	

	ヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチン	小児用肺炎球菌ワクチン
接種できない方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明らかな発熱を呈している方（37.5 以上）</li> <li>・重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン成分または3種混合（破傷風トキソイド）によってアナフィラキシーをおこしたことがある方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン成分または3種混合（ジフテリアトキソイド）によってアナフィラキシーをおこしたことがある方</li> </ul>
医師と相談が必要な方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある方</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気、発育障害など基礎疾患のある方</li> <li>・予防接種を受けた後2日以内に発熱をした方や全身性発疹等のアレルギーを疑う症状があった方</li> <li>・過去にけいれんの既往がある方</li> <li>・過去に免疫不全の診断がなされている方や先天性免疫不全症の近親者がいる方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン成分またはジフテリアトキソイドに対して、アレルギーをおこすおそれがある方</li> </ul>

### ワクチン接種後の注意

接種後30分間は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡がとれるようにしてください。

接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

接種後1週間は体調に注意してください。はれが目立つときや機嫌が悪くなったときは医師に相談してください。

接種部位は清潔に保ってください。入浴は問題ありませんが、接種部位をこすことはやめてください。

接種当日は激しい運動はさけてください。その他はいつも通りの生活で結構です。

このワクチンは不活化ワクチンです。接種後に、違うワクチンを接種する場合は、6日間以上間隔を開ける必要があります。

### 予防接種による健康被害救済制度について

任意の予防接種により健康被害が発生した場合は、予防接種法に基づく救済は受けることができません。健康被害が発生した場合は「神川町予防接種事故災害補償規則」及び、独立行政法人医薬品医療機器総合機構による「医薬品副作用被害救済制度」により救済されます。

健康被害が生じた場合は、神川町保健センターへご相談ください。

《問い合わせ先》 神川町保健センター 電話 0495-77-4041